

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 023	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
要望問題名 新たなイチゴ種子繁殖型品種「よつぼし」の育苗を中心とした栽培研究について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 〔背景〕 横浜・川崎地域ではイチゴ狩りを実施している農家が多く、利用者のニーズから多くの品種を栽培している。このたび、新品種「よつぼし」の導入が可能となり、当地域でも導入を予定している農家がある。また、他の地域でも同様の状況と思われる。 しかしながら、この品種は種子繁殖性であることから、特に育苗技術や定植時期について従来と異なると考えられる。このため、種子からの育苗管理、セル苗からの育苗管理、本ほでの栽培管理（定植ステージによる違いも含める）について、本県の気候にあった栽培方法の検討が求められている。 〔内容〕 ・「よつぼし」の育苗管理（種子からの育苗方法及びセル苗からの育苗方法）及び本ほ栽培管理の検討 ・本県で多く栽培されている品種（「紅ほっぺ」、「とちおとめ」など）との比較調査の実施 〔対象地域〕 横浜川崎地域 15戸 約150a	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 種子繁殖型イチゴ品種「よつぼし」については、様々な試験研究が取り組まれ、また全国の生産者向けの研究会が組織されて品種特性や既存品種との比較試験の結果など情報が蓄積されています。従来品種とは異なるタイプの品種ですので、当課におきましても情報収集に努めており、普及指導活動に有益な情報については、提供します。また、生産現場で問題が生じた際には解決策の検討など対応します。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			